

### MEC Press Release ReNo:32-04

HEAD OFFICE: 3-95 SYOWA-DORI AMAGASAKI, HYOGO-KEN, JAPAN TEL 81-6-6414-3451 E-mail info@mec-co.co.jp URL http://www.mec-co.com/

平成 13年3月26日

各 位

上場会社名メック株式会社(コード番号:4971 大証 NJ スタンダード)本社所在地兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地問合せ先取締役 社長室長 前田 和夫TEL 06-6414-3451

# アドバイザリー・ボードの設置に関するお知らせ

当社は、株式上場企業の経営体制強化とクォリティー・アップの第一歩として、直面する経営課題に対し 社外有識者から多面的、客観的意見を求める「アドバイザリー・ボード」の設置を決定いたしましたので、お知 らせいたします。

なお、設置にあたり、2名のアドバイザーを決定いたしました。

記

#### 1. 設置目的

当社の化学薬品は、携帯電話やパソコン等の情報通信機器をはじめ、デジタル家電やクルマ、 医療検査器具などに用いられる電子基板製造工程に幅広く使用されております。しかし、電子基 板製造技術の革新と電子基板市場のグローバル展開は、激しく変化しております。当社はこのよ うな環境の変化に対し、コーポレート・ガバナンスの視点から、経営のグローバル化推進、および 的確な対応が必要であると痛感しております。

アドバイザリー・ボードは、世界的視野に基づく社外の方々の助言・提言を当社の事業展開、 組織運営に活かし、事業戦略の強化、経営の革新性・透明性を高めるために設置いたしました。 アドバイザーは、当社の経営に対し国際的、多面的かつ客観的な意見を拝聴できる有識者から選 任させて頂きました。

#### 2. 運営概要

設置時期 平成 13 年 3 月 26 日

開催頻度 1月、4月、7月、10月の年4回 構成人員 アドバイザーおよび当社取締役

3.アドバイザー(敬称略)

石井 正人(いしい まさひと)

John M. Taylor (ジョン M・テーラー)

石井技術士事務所所長 (詳細は別紙参考資料 参照) Investor Responsibility Research Center, Inc. 首席研究員兼企画開発担当 (詳細は別紙参考資料 参照)

以上



### (参考資料 )

## 石井 正人氏について

平成8年に石井技術士事務所を設立。

三井金属鉱業株式会社の元電子材料研究所長、同社理事、岡山大学客員教授を経て、現在は、三井金属鉱業株式会社の総合研究所技術顧問。

過去20年にわたり、銅箔、プリント配線板、 $FPC^{(* \ 1)}$ 、 $TAB^{(* \ 2)}$ 、 $BGA^{(* \ 3)}$ 、 $CSP^{(* \ 4)}$ などの製造、研究開発に従事。

専門は電気化学、表面処理。

技術士(金属)、工学博士。

- (\* 1) FPC: Flexible Printed Circuitの略。絶縁層にポリイミドを用いた屈曲性のある 電子基板のこと。
- (\* 2) TAB: Tape Automated Bondingの略。半導体チップと基板の間をキャリアテープ 上の導体で相互接続するファインピッチ技術。
- (\*3) BGA: Ball Grid Arrayの略。終端接続用のバンプがパッケージの下面にグリッド上に形成されている表面実装パッケージ
- (\* 4) CSP: Chip Size Packageの略。半導体チップと同じ程度の大きさにしたパッケージのこと。



### (参考資料 )

## IRRCについて

会 社 名: Investor Responsibility Research Center, Inc. 住 所: 1350 Connecticut Avenue, NW Suite 700

Washington, DC 20036-1702

ホームページ: http://www.irrc.org

事業内容:以下の通り

IRRC (Investor Responsibility Research Center) は、1972年ワシントンDCにおいて有力機関投資家によって設立されたコーポレート・ガバナンスの研究機関であり、SEC (米国証券取引委員会)に投資顧問として登録されている。従来は非営利法人であったが、2001年1月に完全な持ち株法人化し、その事業部門を100%子会社として株式会社化して現在に至っている。

IRRCは、持ち株法人の出資金と投資顧問会社、年金基金、企業、金融機関、教育機関、大学、法律事務所、監査法人など約500団体に上るスポンサーからの会費をもとに運営されている。持ち株法人は、従来どおり会員機関の代表からなる運営委員会によって運営されている。

IRRCは、客観的・中立的立場からの情報分析・提供を旗印に、機関投資家と投資先企業とのコミュニケーションの場を築くために活動している。また、社会問題が企業活動に与える影響が強くなった今日、そうした重要性も考慮して、経済以外の幅広い問題に関する調査・分析も行っている。